



諸遊壊司議員

選挙公約をどう実施するか

町長 議会と議論しながら

問 選挙公約に、農産加工所は中止するとある。

就任後、事業に取り組むことになった経緯は。

答 (森田町長)

課題の検討と計画の見直しを指示した。将来に向けて持続可能な加工所を目指した。加工品の絞



農産物処理加工施設の予定地

り込みや販売先の調査・確保の強化等に力を入れ、加工所事業に取り組んでいきたい。

問 名和陸上競技場トラック改修に反対の方向であったにもかかわらず、就任後直ちに改修するという方向転換をした理由は。

答 (森田町長)

就任前は、トラック改修の費用で耕作放棄地の再生事業等に取り組む方が良いと思っていたが、この事業の着工が可能となったため、トラック改修をすることにした。

問 町長退職金4年間で1500万円を見直すこと公約したが、もらわない考えか。

答 (森田町長)

制度上、退職金の条例の変更等は、できないというところで、それに替わる報酬の月額20%カットを提案している。

問 「ハコモノ行政からソフト行政へ」とあるが、町長もこれまで3年6か月副議長として我々と一緒に行動した。何が非難

を浴びるような建物であった。

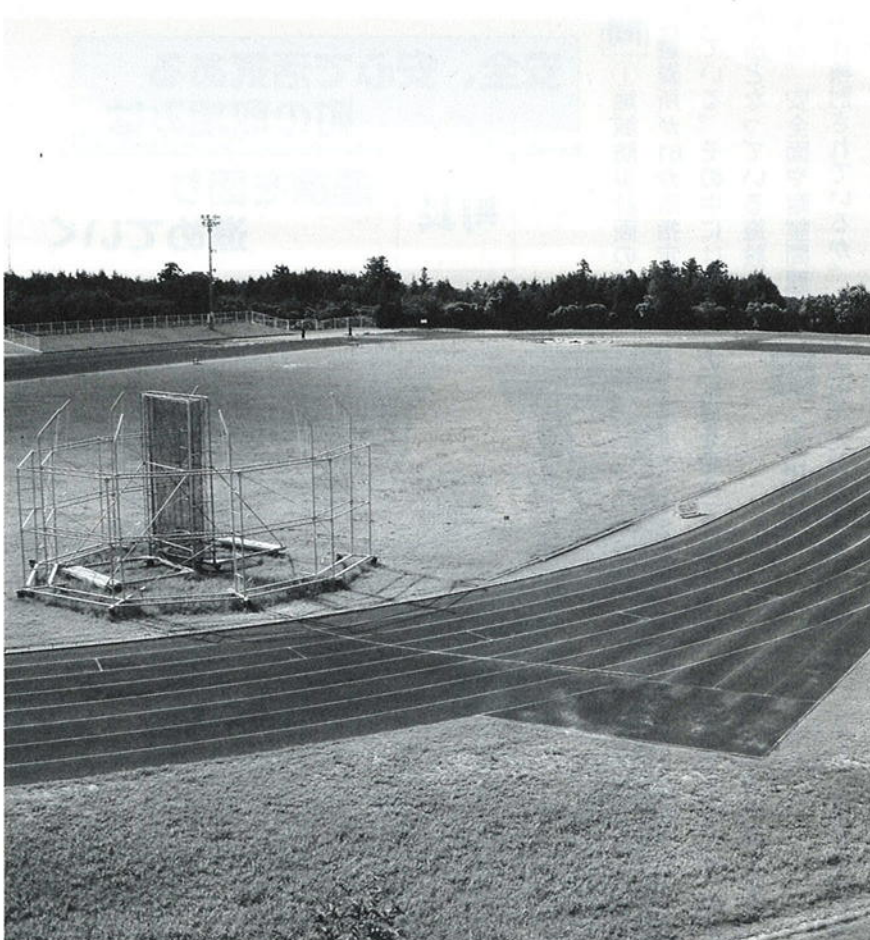
答 (森田町長)

目的達成のための十分な協議・検討がなされていない行政の施設建設の手法を変えろという思いである。

問 町行政において、地域間の温度差・事業の偏

答 (森田町長)

合併時の建設計画や新町の総合計画に基づいて事業が進められてきたものと理解している。公正・公平である大山町のまちづくり・発展に向けて取り組んでいきたい。



改修を決めたトラック